

動物ふぁいる No.82

生き物ずかん

【かごしま水族館☎226-2233FAX223-7692】

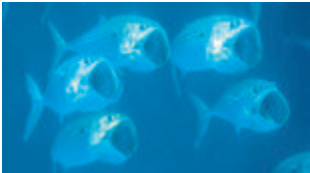
かごしま水族館

グルクマ



グルクマは、沖縄や東南アジアなどの暖かい海に生息する、大きいもので全長が40cmほどになるサバ科の魚です。動物プランクトンなどの餌を食べるときに、あくびのように口を大きく広げながら泳いで海水ごと吸い込み、えらにあるくしのような器官でプランクトンだけを濾しとります。大きな群れをつくって回遊する特徴的な姿は、まるでこいのぼりのようです。

とても食欲が旺盛な魚でもあり、展示する黒潮大水槽では餌を与える時間以外にも、口を大きく開けて泳いでいる姿が見られますが、これは同じ水槽で展示しているカツオが高速で泳ぎながら産んだ卵を、捕食しているものとみられます。



当館で毎日10時15分から行っているイベント「ジンベエザメの食事の時間」では、グルクマにも餌を与えます。群れで一斉に口を大きく広げて泳ぐ迫力ある様子を、ぜひ観察してみてください。

学芸員オススメ！ No.100

市立美術館の逸品

【市立美術館☎224-3400FAX224-3409】

えびはら きのすけ

海老原 喜之助

『本を焼く人』

絵画から平和を考えてみよう

山積みの本と燃え盛る炎。背後には火の番をする人、本を大切に抱きしめる人、その本を奪おうとする人が描かれています。

本を焼く行為は、権力者が特定の思想や学問を弾圧するために行ってきた歴史があり、「焚書」と呼ばれます。戦後の日本で、GHQが特定の書籍を発行禁止にするなど出版に干渉し、教科書の軍国主義的な記述が墨で塗りつぶされたことは広く知られています。



本作は、本市出身の洋画家、海老原喜之助の版画作品です。同様の油彩画が1954年に制作されていることから、同時期のものと思われます。海老原は幅広い作風に挑戦し、戦争を経験したこの時期は、人間や世界の本質を問いかけるようなヒューマニズムに満ちた作品を描きました。

戦後80年を迎える今年、絵画作品が平和や自由を考えるきっかけになればと思います。

本作は9月15日まで「夏の所蔵品展 ミニ特集：戦後80年—平和への祈り」で展示しています。

パイナップルつばさの 食育クッキング

～誰でも作れる簡単レシピを紹介～



■材料(4人分)

- | | | | |
|--------------|--------|------|-------|
| ニンニク | 1片 | 水 | 100ml |
| オリーブオイル | 大さじ1 | 麵つゆ | 大さじ3 |
| トマト | 1個 | そうめん | 6束 |
| 鶏がらスープの素(顆粒) | 小さじ1 | 大葉 | 1枚 |
| 塩 | 小さじ1/2 | | |

■作り方

【保健政策課☎803-6861FAX803-7026】

- 1 オリーブオイルと刻んだニンニクを入れ、香りが出るまで弱火で熱し、粗熱を取る
- 2 トマトを一口サイズにカットする
- 3 ボウルに2とAを入れ、つぶすように混ぜた後に、1とBを加えさらに混ぜ、冷蔵庫で冷やす(トマトスープの完成)
- 4 そうめんを袋に記載の目安時間ゆで、流水で冷まし、水気を切る
- 5 器にそうめんを盛り、3をかけて刻んだ大葉をのせたら完成
(1人分の栄養成分：エネルギー275.8kcal、食塩相当量1.6g)



トマト

大玉、中玉、ミニとサイズがあり、ミニトマトは吉野地域で栽培が盛んです。リコピンやビタミンC、β-カロテン、カリウム、食物繊維などさまざまな栄養素が含まれます。



Instagramでもレシピ公開中

国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人 中央畜産会

中央畜産会 TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

広告